



令和6年10月31日発行
足立区立足立小学校
校長 加藤 憲司

学校だより



あだち

令和6年度
第7号

11月

〒120-0015 足立区足立3-11-5
Tel 03-3887-8891

HPアドレス <http://www.schoolweb.ne.jp/adachi/adachi-e/>

親切さとは

校長 かとう けんじ 加藤 憲司

暮秋というにふさわしい気候となってまいりました。足立小学校は10月15日から後期が始まり、令和6年度も折り返しの時期となりました。後期の始業式では、5年生の代表児童から「あと半年で6年生」、「様々なことに積極的に挑戦したい」など力強い発表がありました。全ての児童にとって、実りある後期になることを期待しています。また、運動会では多くの保護者、地域の方々にご来校いただきありがとうございました。日頃の体育の授業の成果だけではなく、学級の友達と協力して表現することなど、多くの学びがあり、成長することができました。いただいたご意見をもとに、よりよい運動会となるよう検討していきます。

道徳科の授業について

先日、足立小学校の体育館で地域の「敬老会」が開催されました。その際、ある高齢の女性の方から次のような話をいただきました。



ある日、道路を渡ろうとしていた時、シルバーカーのタイヤが引っかかって困っていたら、子供が近寄ってきて、「何か手伝うことはありますか?」と声をかけてくれました。どこの学校に通っているのかを尋ねると、「足立小学校」と答えてくれました。とても嬉しい気持ちになり、学校にお伝えしたいと思いました。

私も、この話を聞いてとても嬉しい気持ちになりました。足立小学校では、1年生から6年生まで年間35時間(小学校1年生は34時間)、道徳科の授業を行い、子供たちの道徳性を養っています。

道徳科で学ぶ内容の一つに、今回の話にかかわる「親切、思いやり」があります。例えば、授業の中で「親切」に関わる話を学んだとします。「相手に親切にすることは大切だ」ということは子供たちはすぐに分かり、今回、困っている方に声をかけた子供はとても素晴らしい行動であることも分かります。しかし、「分かっている、できないときもある」という面もありますね。大人だってあります。大切なことは、「親切にできる自分、できない自分も含めて自分であり、親切にすることの難しさを自分ごととしてとらえ、考えようとしているか」であり、「親や教師が求める正しいことを言えばよい」というものではありません。

今後、子供たちが社会に出たとき、様々な出来事に出会うことでしょう。その時、自らの力でより良い判断をし、よりよく生きる力を身に付けることが必要であり、道徳科の授業が、子供にとって、これからの人生につながる学習であってほしいと思います。

学校公開週間(10月7日~11日)が終わりました

10月7日から11日まで実施した学校公開には、保護者、地域の方、のべ498人にご来校いただきました(内訳は以下のとおり)。今回から「校長による学校案内」を新たに始めました。教室以外にも、学校図書館やプールなど普段見学できない場所も案内します。次回、関心のある方はお申し込みください。



	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	合計
参加者数	97人	104人	86人	102人	109人	498人

令和7年度5年生の自然教室について

区より通知があり、区の施設である鋸南自然の家が改修工事により当面の間利用できないことになりました。例年5年生は鋸南自然教室を実施してまいりましたが、令和7年度は国立那須甲子青少年自然の家を利用した自然教室を予定しておりますので、ご承知おきください。